


○大間々地区検討委員会 第2回委員会の協議内容と得られた方向性について

<p><b>〈協議①〉</b> <b>大間々の学校の今後について</b></p>	
意見の概要	<p>①大間々、笠懸、東の3地区それぞれで検討していく形はおかしい。地区別で検討すれば新しく笠小を作り直すことになるのは必然。今あるものを改修して使い、真に必要なことにお金を使うべき。この計画では、3地区の分断がより進んでしまう。</p> <p>②大間々南小の卒業生としては、残ってほしい気持ちはある。ただ、今になってはそうも言っていない。</p> <p>③例のように小学校2校、中学校1校がよい。中1ギャップの問題も解消できる。</p> <p>④大中と大東中が一緒になって、大間々で1つの中学校ができるのはよい。</p> <p>⑤義務教育学校化する場合、「みどり市は義務教育学校に強い。」となっていくのもよいと思う。いずれにしてもメリットデメリットがあるから、どんな方法でもメリットを最大化していくことが大切だ。</p> <p>⑥義務教育学校は5, 6年生でリーダーを経験する機会を奪ってしまう。小学校と中学校で2回、リーダーを経験できるようにさせたい。</p> <p>⑦六三制を維持して、小学校から中学校への環境変化を成長につなげていく。</p>
	
得られた方向性	<p>①みどり市全体の一体感の醸成を推進する学校の在り方をどのようにしていくか（継続協議）</p> <p>②大間々北小と大間々南小を統合し小学校2校にしていくのが望ましい。中学校は2校を統合し1校にしていくのが望ましい。（継続協議）</p> <p>③義務教育学校化ではなく、小学校、中学校を存続させる方向が望ましい。（継続協議）</p> <p>④統合となった場合の学校の配置場所について。（継続協議）</p>